

# ホクコーエーワン<sup>®</sup>ジャンボ

- 種類名：オキサジクロメホン・テフリトリオン粒剤
- 有効成分：オキサジクロメホン-----2.0%  
                  テフリトリオン-----10.0%
- PRTR法指定物質：オキサジクロメホン [第1種] -----2.0%  
                                  ドデシル硫酸ナトリウム [第1種] -----1.2%

- 登録番号：第22608号
- 毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)
- 登録初年：2010.02.18
- 性状：淡褐色細粒、水溶性パック入り  
                  1パック30g
- 有効年限：3年
- 包装：300g x 20袋、900g x 12袋

## 【特長】

- 新規有効成分テフリトリオンとオキサジクロメホン配合の2成分の一発処理除草剤。
- 一年生および多年生の幅広い雑草に有効で、雑草を白化させて枯死させる。
- ノビエの発生を長期間抑える。SU 抵抗性雑草、イボクサ・クサネムなどの特殊雑草に高い効果を示す。

## 【適用内容】(2016年10月末日現在)

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植 水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ(北海道、東北) オモダカ ミズガヤツリ(北海道を除く) ウリカワ ヒルムシロ	移植後 5 日～ ノビエ 2.5 葉期 但し、 移植後 30 日まで	砂壤土 ～ 埴土	小包装 (パック) 10 個 (300g) /10a	1 回	水田に 小包装 (パック) のまま投 げ入れる。	全域(関東・東 山・東海、九州 を除く)の 普通期及び 早期栽培地帯
	クログワイ(北海道、東北を除く) エゾノサヤヌカグサ(北海道) セリ(北陸を除く) シズイ(東北)	移植後 5 日～ ノビエ 3 葉期 但し、 移植後 30 日まで	壤土 ～ 埴土				関東・東山・東 海の普通期 及び早期栽培 地帯
直播 水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヒルムシロ セリ	稲 1 葉期～ ノビエ 2.5 葉期 但し、 収穫 90 日前まで	砂壤土 ～ 埴土				全域

オキサジクロメホンを含む農薬の総使用回数	テフリトリオンを含む農薬の総使用回数
2 回以内	2 回以内

## 【効果・薬害等の注意】

- 必要量を購入し、できるだけ残すことなく使いきること。
- 本剤は雑草の発生前から発生初期に有効なので、ノビエの3葉期まで(北海道、東北、北陸、関東・東山・東海(砂壤土)、近畿・中国・四国、直播水稲では2.5葉期まで)に時期を失しないように散布すること。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にフレが出るので、必ず適期に散布するように注意すること。ホタルイ、ウリカワは3葉期まで(ホタルイの北海道、東北、北陸、関東・東山・東海、九州は2葉期まで、ウリカワの関東・東山・東海は2葉期まで、北海道、東北、北陸は発生始期まで)、ヘラオモダカ、ミズガヤツリ、エゾノサヤヌカグサは2葉期まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生前から再生始期まで、クログワイ、オモダカは発生始期まで、シズイは草丈3cmまでが本剤の散布適期である。
- オモダカ、クログワイ、シズイは発生期間が長く、遅い発生のものまでは十分な効果を示さないので、必要に応じて、オモダカ、クログワイは有効な前処理剤または後処理剤と組み合わせて使用し、シズイは後処理剤と組み合わせて使用すること。
- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平化及び植付け作業は丁寧に行うこと。未熟有機物を使用した場合は、特に丁寧に行うこと。
- 散布の際は水の出入りを止めて湛水状態(水深5～6cm)のまま田面に均一に散布し、散布後少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないこと。また、入水は静かに行うこと。
- 本剤は小包装(パック)のまま10アール当たり10個の割合で水田に均等に投げ入れること。
- 藻や浮草が多発している水田では、拡散が不十分となり、効果の劣る可能性があるため使用を避けること。
- パックに使用しているフィルムは水溶性なので、ぬれた手で作業したり、降雨で破袋することのないように注意すること。
- 以下のような条件下では薬害が発生するおそれがあるので使用を避けること。
  - ◆ 砂質土壌の水田及び漏水田(減水深2cm/日以上)
  - ◆ 軟弱な苗を移植した水田
  - ◆ 極端な浅植の水田及び浮き苗の多い水田

- 本剤を直播水稲で使用する場合、稲の根が露出する条件では、薬害を生ずるおそれがあるので使用を避けること。
- 本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用する場合には、十分注意すること。
- 散布後に多量の雨が予想される場合は除草効果が低下することがあるので使用を避けること。
- 本剤は、移植前に生育したミズガヤツリには効果が劣るので、他の方法で完全に防除してから使用すること。
- 散布田の水田水を他の作物に灌水しないこと。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないよう注意し、特に初めて使用する場合や異常気象時は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

#### 【安全使用上の注意】

- ❖ 本剤は水溶性フィルムで小包装化されているため、通常的使用方法ではその該当がない。ただし濡れた手で触らないこと。
- ❖ 水溶性フィルム包装が破袋した場合は以下の点に注意すること。
  - ① 誤食などのないよう注意すること。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせること。
  - ② 眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
  - ③ 皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
  - ④ かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
- ❖ 保管：直射日光を避け、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管すること。吸湿性があるので湿気には十分注意し、使い残りは外袋の口を堅く閉じて保管すること。また、強く加圧されると包装材フィルムが劣化するおそれがあるので下積みにならないようにすること。